

就職氷河期世代の就労に残る課題

労働政策研究・研修機構 堀 有喜衣

資料出所：堀 有喜衣・岩脇千裕・小杉礼子・久保京子・小黒恵・柳 煌碩／
労働政策研究・研修機構編，2022，日本社会の変容と若者のキャリア形成。

※分析はいずれも総務省「就業構造基本調査」（2019年）の二次分析。

氷河期世代の正社員移行において残る課題

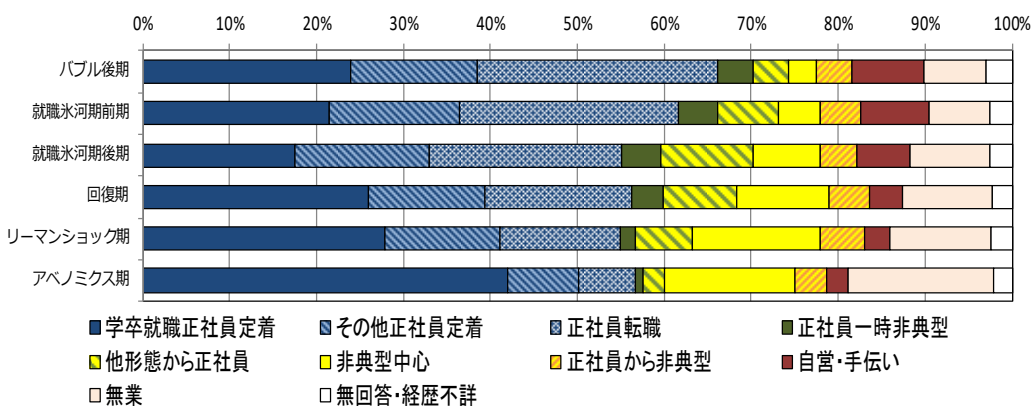
キャリア類型	男性		女性	
	週労働時間 (時間)	年収 (万円)	週労働時間 (時間)	年収 (万円)
正社員定着	47.4	530.7	42.1	378.5
正社員転職	47.8	453.6	41.2	315.5
正社員一時非典型	47.7	380.5	40.5	271.4
他形態から正社員	47.9	400.7	41.8	293.9

現在正社員として同じように働いていても、後から正社員（他形態から正社員）になった場合は年収の平均が男性で約130万円、女性で約180万円低い。

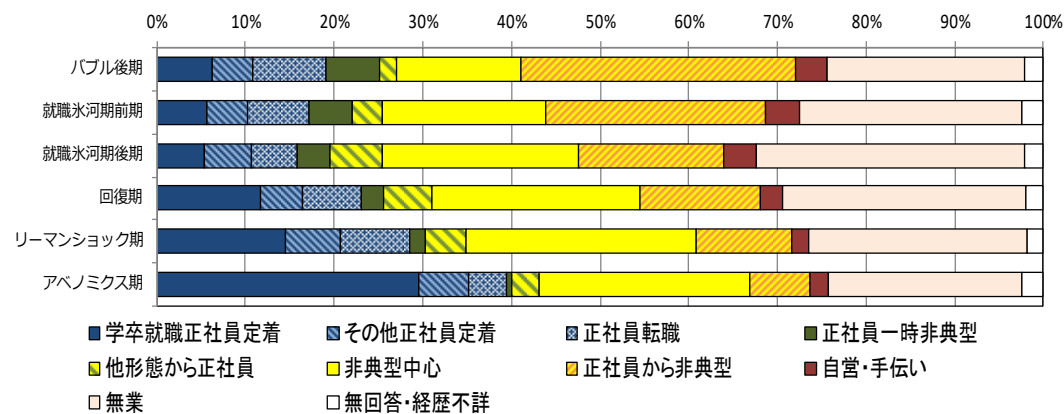
将来の年金見込み額にも反映されると見られ、高年齢期まで影響。

氷河期世代は「後から正社員」（他形態から正社員）の割合が他の世代より高い

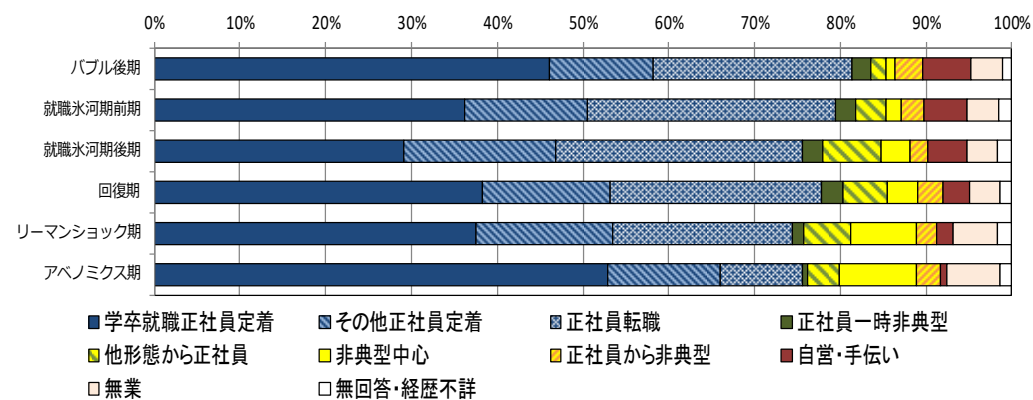
①男性・高卒



③女性・高卒



②男性・大卒



④女性・大卒

